

Smile

27年 9月

第55号

麦久保園だより

HP <http://www.mugikubo.jp>E-mail mugi@dream.ocn.ne.jp

◆ 麦久保園の創立20周年を寿ぐ

折立町内会会長 田中義夫

本年度、貴園は創立20周年を迎えるとお聞きいたしました。心よりお祝い申し上げます。園庭には創立者の小林福一様の言葉である「お年寄りには自分の親と想い、職員は自分の子供と想え、すれば大過なし」という碑が建っています。

この言葉の通り、貴園の職員の皆さんはどなたにも分け隔てなく明るく温かく真心を持って接しておられることにいつも心を動かされております。貴園にお邪魔するたびに、それぞれの専門分野の方々の縦や横の関係が大変円滑に機能なさっているように見受けられ、ほんわかとした気持ちになります。

折立町内会には貴園には常日頃大変お世話になっております。とりわけ、盆踊り大会、敬老の集い、防災訓練、介護の集いでは文字通りおんぶにだっこで、痒い所に手が届くようになさっていただいております。町内会としてそのご親切に出来るべく努力しなければならぬと考えております。

高齢化がますます進み、特養老人ホームの増設と職員の確保は喫緊の課題です。そのためには介護報酬の増額と職員の労働条件の改善が必須です。これからますます社会のニーズは高まります。今最も求められる仕事であり、ハ-

ドな仕事内容からそれに見合った賃金等の引き上げは至極当然のことです。

ところが、今反対のことがなされようとしています。介護報酬の大幅な削減と生活困難者に対する無償・低額の福祉サービス等の、公費支出のない地域公益活動を義務づけようとしています。高度に成熟した社会にあつて必要なのは、老後を心配なく生きられる社会福祉です。経済成長一辺倒の考えは時代錯誤です。

こういう世相の中にあつてどう在園者に温かい親身なサービスを提供してゆくか、園も職員も日夜煩悶苦悩なさっておりますこととお察しいたします。

貴園の存在と活動は折立町内会の皆さんの心のよりどころであり安眠所です。これからも末永くお付き合いをいただいで、両者の良き関係がより深まってゆくことを期待したいと思います。

貴園の益々の弥栄と職員の皆様のご発展を心より祈念申し上げます。



◆ 地域の社会資源として

事務長 島田 正

麦久保園は平成8年2月15日に東京都より施設開設許可を受け、2月20日に開園、そして来年(平成28年)で丸20年になります。開園当初から「地域に根差した施設」をひとつの方針として掲げ、毎年度作成する事業計画において「地域交流行事、対外交流活動」として目標を定め、取り組んでいます。

★地域交流行事

地域交流行事として大きな催しは4つあります。

① 納涼祭

毎年7月に実施する納涼祭は、20回を数え開園から継続して行っています。(平成23年3月11日に発生した東日本大震災の後は、実施規模、時間等を考慮しました。納涼祭は毎年300〜350名位の方が来園され、小さな子供さんからご家族、近隣の方、高校生ボランティア等、多くの方の交流の場として賑やかな夏行事として実施しています。

② 敬老の集い

敬老の行事は、地元町内会との共催で今回で

20回目になります。実施にあたって町内会の方と開催時期、催しの内容を企画検討します。開催当日は町内会からは毎年60名位の方が参加され会食、余興の鑑賞、歌等のイベントを通して和やかな雰囲気の中でお祝いをしています。

③ 介護の日懇親会

平成20年に制定された「介護の日」(11月11日)に合わせて今年で7回目です。「介護の日懇親会」として町内会、近隣住民の方と介護に関する情報交換の他、種々の相談をお受けしています。この懇親会には20名〜30名程度の方が参加され、毎回有意義な時間を持っています。

④ 地域合同防災訓練

平成9年7月2日に近隣2町内会と麦久保園の三者で災害活動相互応援協定を締結しました。この協定に基づき毎年秋川消防署の立ち合いにより、合同防災訓練を実施しています。東日本大震災から見えた自然災害の脅威、そしてもたらされた影響の大きさは計り知れないものがあり、このような災害から「生命」を守る為にも日頃の準備(心構え)と、もしもの時に備えた訓練の重要性と相互協力の大切さを痛感しています。

施設を利用される全ての人の安全安心を大切に、更に避難所としての役割を果たす為、今後も近隣の皆様と相互協力を図っていきます。

★その他の来園活動

① 介護等体験

介護等体験とは、平成10年4月1日から「教育職員免許状取得者」に義務化された制度で、教育職員免許を授与するにあたって社会福祉施設や特別支援学校などで7日間(社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間)の介護等の体験を行わなければならないとされており、その目的は「一人の心の痛みがわかる教員、各人の価値観の相違を認められる心を持った教員の実現に資することにある。」とされています。(インターネットより)

当園でも毎年教育職員を志す大学生の方が5日間の体験でご利用者、職員との交流を通して貴重な時間を過ごされています。

② インターシップ

今年も大学生が2週間(実質10日)にわたって将来の職業選択へ資する目的で介護職の業務を中心に経験されました。今、介護業界の人材不足は大きな課題です。インターシップにおいて介護の仕事の意義そして楽しさ、充実感を知って頂ければ幸いです。

③ 職場体験、体験ボランティア

毎年市内の中学校や社会福祉協議会が主催する夏体験ボランティアで小学生から社会人の

方が、体験、学習を目的に活動されます。日数、時期、内容は様々ですが、活動を通して福祉施設を知って頂き「また来てみよう」と思ってもらえれば幸いです。

④ 西多摩保護司会ボランティア活動

更生保護事業を実践されている西多摩保護司会が企画、実施する「社会参加活動」を平成12年より活動の実施施設として受け入れを行っています。毎回30名前後の方が「シート交換や清掃」の他、外周環境(草とりなど)の整備、またご利用者と一緒に作業療法で作品制作などで交流を図っています。この参加活動で充実した時間を体験されいろいろな事を感じて頂いているようです。

また、今年から法務省保護局が行う社会貢献活動の受け入れも始めました。

⑤ ボランティア

現在、12名の方が洗濯たみ、車イス清掃を始め傾聴、作業療法、合唱など多岐にわたって定期活動をして頂いています。また、納涼祭では東海大菅生高校ハンドボール部の生徒の皆さんにもお手伝いしてもらっています。

地域交流、対外活動と多くの方々との交流が図られ、社会福祉施設の持っているソフト、ハード両面の機能を活用して多くの方が有意義な時間と生涯学習の場として、施設に来園され

ます。

今後も継続して多くの方との交流が図れば幸いです。



◆ 夏体験ボランティア感想文 (抜粋)

小学6年生 女子

私は、初めて来た時いろいろな人に会うのにすごくドキドキしました。そのうち慣れてきてほとんどの人が好きになりました。ご利用者さんが「かわいいね」「がんばってね」と励ます言葉を言ってくれたので、とても嬉しい気持ちになりました。休憩では寝すぎってしまったこともありましたが、私も頑張ろうと思いました。職員の中でも励ましてくれた人、ほめてくれた人がいっぱいいて、たくさん話を聞いてくれたり、アドバイスを言ってくれたりしました。私はそのおかげでやった方が良いことや、やってはいけないことがどんどんわかって来たのです。麦久保園にはとてもやさしい人がいっぱいいて良い場所だと思いました。もしも自分で勉強をして良くわかるようになったら、将来お年寄りを温かく見守ったり、人を幸せにしたり、人の思いを考えて行動する職業につきたいと思いました。

高校2年生 男子

私はこの3日間のボランティア活動の中で、麦久保園の職員の方々によるご利用者様への気づかい、コミュニケーションのとり方を学ぶことができました。三日間の活動は職員の方の仕事のサポートという形のものが多く、その中でベッドのシート交換と食事への職員の心づかいが印象に残っています。シート交換では、ご利用者様のベッドの素材や形がそれぞれ別の物を使用していたり、シートをしっかりと張らないだけでも床ずれの原因になるということを知ることができました。食事では一人一人のスプーン、フォークの形や、食べ物や飲み物の中で飲みこめるように工夫されていて、こんなに細かい点にまで気を使っているのかと感じることができました。

その他の活動の中でご利用者様とお話する機会がありました。数人と話しましたが、一人は耳が遠く、声を大きくして会話をし、もう一人の方は同じ事を何度も繰り返して話されました。このように一人一人話し方にも違いがあり、最初は私もなかなか話す事が出来ませんでした。しかし、職員の方はとても簡単に会話をしています。全員の違いを理解しているからです。私もなるべくお話をすることができるようになるのが苦手なのか理解するように話すと、三日間の中でだんだん会話を楽しめるようになりま

した。
これらの経験は将来、医療系の仕事に
と考えている私のような人間にとつては基本
であり、とても大切な部分であると思いま
三日間という短い間でしたがとても大切な事
を学ぶ事が出来ました。

お知らせ

●ホームページのご案内

麦久保園ホームページを是非ご覧下さい。

(メールアドレスは表紙記載)

広報誌「陽なたぼっこ」等も随時掲載して
ます。

●マイナンバー制度が始まります

平成27年10月から、住民登録されたいる方
一人に「マイナンバー」が通知され、平成28
年1月からマイナンバーを利用した制度の運
用が開始されます。

詳しくは役所へお問い合わせ下さい！

●決算報告

平成26年度決算はホームページをご覧
下さい。



●ボランティア募集中

●外出時の付き添い

傾聴、買い物、食事外出の他、
ドライブ等行事の
付き添い

●シーツ交換

毎週土、日に行っているシーツ交換のお手伝
い
その他、ご興味のある方、活動希望の方、
ボランティア担当まで連絡をお願いします。

(担当 窪島まで)



●送迎のご案内

皆様のご面会、ご来園を心からお待ちして
おります。送迎車も運行しておりますので、御利
用の際は前日までにご連絡下さいますよう願
い致します。

職員募集中!!

※正職員

有資格者 (看護師)

介護支援専門員

資格問わず (介護職員)

※パートタイマー 資格問わず (介護職員)

詳細は当園までお問い合わせ下さい。

事務長 島田まで

《編集後記》

暑い夏、そして多雨の夏も終わり、麦久
保園周辺もススキやコスモス、曼珠沙華を
見かけるようになりました。季節はすつか
り秋の装いを始めています。当誌「スマイ
ル」も年度の中盤、広報委員の6名も明る
い話題を中心に取材、意見交換など積極的
に活動しています。

今後も更に内容の充実に努めたいと思っ
ております。

皆様のご意見、ご感想をお寄せ
下さいますようお願い致します。

発行所

社会福祉法人 福 信 会

特別養護老人ホーム麦久保園

短期入所生活介護(ショートステイ)

介護保険事業者番号 一三七四九〇〇一六三

居宅介護支援事業所ケアサービス麦久保

介護保険事業者番号 一三七五二〇〇一五九

〒一九七〇八〇二 あきる野市草花二、二一九

TEL 〇四二一五五〇一二二〇一(代)

FAX 〇四二一五五〇一二二一八

発行人 野村 和郎

編集 麦久保園広報委員会